

ごみゅにけーしょん

Gommunication

みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

リユース食器でエコを実感!!

リユース食器とは、使い捨てでなく何度も繰り返し洗って使える食器のことで、主にイベントで使用され、カップや平皿、お椀わん型のものなどがあります。ごみの減量につながる環境にやさしいイベントの強い味方です。

11月9日に開催された「KBS 京都 リユース食器 de 食フェスタ」取材しました



リユース食器の魅力を実感

耐久性に優れ、軽くて丈夫なプラスチック製で、サイズも豊富なため、どんな料理にも対応可能です。

主催者の声

- ・環境にやさしい取組としてイメージアップにつながります。
- ・お客様と一緒に、ごみ減量に取り組めます。

利用者の声

- ・使い捨ての紙容器と違い、持ちやすく食べやすいです!

出店者の声

- ・おいしく食べてもらえます!



環境へのやさしさを実感

使用後は返却し、洗浄・乾燥した後に再使用します。主催者、利用者、出店者がエコを実感しながら、取り組むことができます。

主催者の声

- ・食器の返却時に、お客様から「ごちそうさま」という言葉が聞け、ごみ箱に捨てるだけの使い捨て食器にはないコミュニケーションが生まれています。

利用者の声

- ・「残さずに食べよう」という気持ちが持てました。

出店者の声

- ・ごみの量が減ったと思います。これからも継続して利用したいです。



ごみ減量の効果を実感

イベント終了後のごみの量が大幅に減少します。

ごみが出ないことを実感できます!

導入事例

祇園祭で、リユース食器などを使ったモデル店舗「エコ屋台」に取り組みました。宵山の3日間に排出されたごみの量は約4kgで、一般的な屋台から排出される量の10分の1以下に減りました!

1/10!!

地域での取組事例

自治会でリユース食器を導入

西京区の桂自治連合会では、大人たちが資源を大切にしている姿を子どもたちに見せることが大事だと考え、早くからリユース食器を導入されています。夏祭りでの使用や、地域への貸出しなどの取組が行われています。



桂自治連合会会長 山本 義博さん

職場でできるリユース

- 物品の移動・輸送は、ダンボール箱ではなく、通い箱を使用
- カートリッジ式の文房具を使用
- 飲み物はマイボトルやマイカップを使用
- ドリンクサーバーの紙コップをリユース食器に変更



京都環境事業協同組合からのお知らせ

事業ごみ収集のご相談は当組合まで。「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています! ★お客様相談窓口を、ぜひご利用ください!

相談窓口 受付時間
Tel. 691-5517 月~金 13:00~17:00

ごみ削減に役立つ豆知識

ごみゅにけーしょん Q&A

Q 京都市では「生ごみ3キリ運動」を推進しています。3つの「キリ」は、食材を使い切る「使いキリ」、残さず食べる「食べキリ」、あと一つは何でしょう?

- 1 すっきり
- 2 水キリ
- 3 作りキリ

答えは裏面の下にありませう

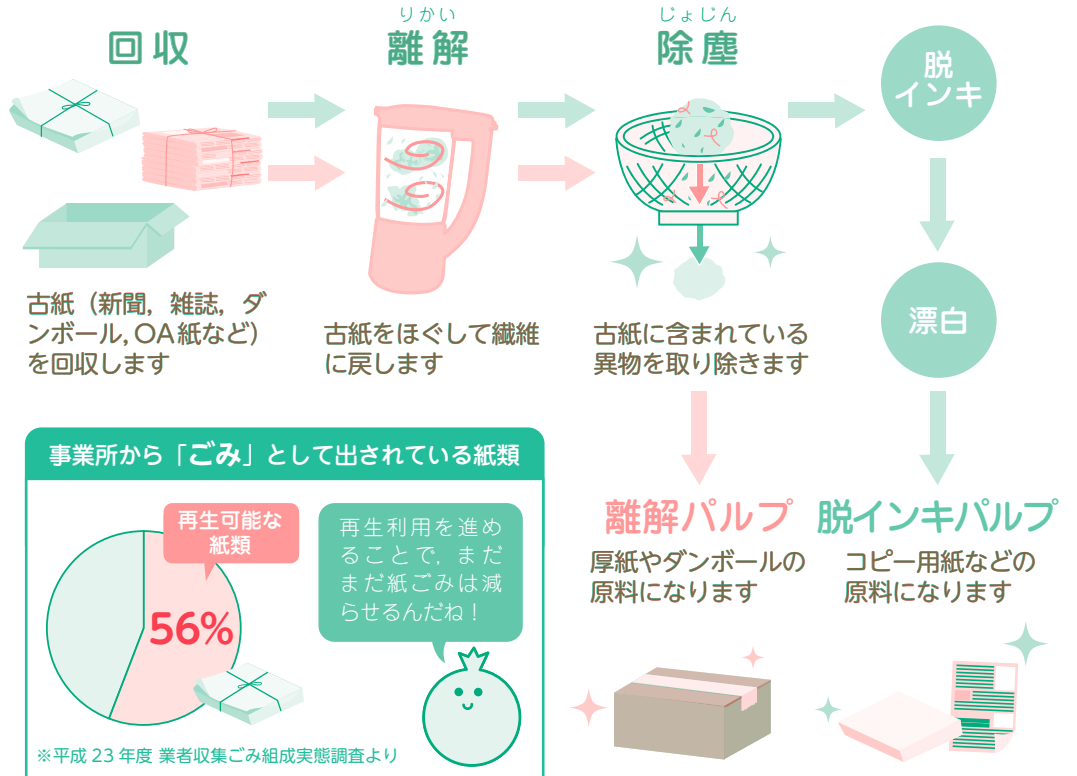
分別ごみの行方

第4回 紙のリサイクル

事業所から回収された古紙の再生利用の様子を紹介します。



紙のリサイクルの流れ



NEWS 53 ~ ニュース ファイブスリー ~

「食べ残しゼロ優秀店舗認定制度」の創設に向けたモデル事業を実施

（実施期間：平成25年10月26日～平成26年2月28日）

京都市では、生ごみの減量に向けて、「生ごみ3キリ運動（使いキリ、食べキリ、水キリ）」を推進しています。現在、飲食店舗の協力を得た新たな取組として、「食べ残しゼロ優秀店舗認定制度」の創設に向け、モデル事業を実施しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

[京都市 生ごみ3キリ運動](#)

協力店舗：

酒菜 石慶／炭火串焼 つじや／パハルポールグループ（スペイン料理）「ラ・マーサ」「エル フォゴン」「ラ ガジェガ」



このステッカーが目印です！

コラム 京の知恵

京都の伝統文化に育まれた知恵を、次代を担う文化人がコラムで紹介！

北林 功 (COS KYOTO株式会社 代表・コーディネーター)

デザインを手がける際は、素材・技術に受け継がれてきた文化の本質を学び、それを我々の感覚で現代に合わせることを心がけています。さらに、昨年米国ポートランドへ行った際には、新しい・古いに関わらず、素材を活かすアイデア次第、ということも感じました。かの地では、100年前の古民家のドアも捨てられたばかりのドラム缶も、ソファなどのインテリアとして生まれ変わっていました。そして、市民がこれらを回収して素材として提供する組織を自主的に運営する姿にハッとしました。この根底には「自分には不要でも他者のアイデア次第で活かせる」という共通認識があるのでしょうか。



京都には人とのつながりを大切に、物の「見立て」を楽しんできた文化があります。不要品をごみとして捨てるのではなく、素材として活かすアイデアを持っている人に譲る。物を見る多様な視点を楽しむ。このように受け継がれてきた文化を現代に合わせて楽しむと、自然とごみは減るかもしれません。

北林功（きたばやし さお）プロフィール：

COS KYOTO株式会社 代表・コーディネーター／TEDxKyotoディレクター。日本の文化・技術・素材をリデザインして京都から世界に発信するクリエイティブユニットとして、各種デザイン・企画を手がける。

ごみゆにけーしょんQ&Aの答え：② 水キリ

生ごみの約8割は水分が占めています。水を切って、ごみの減量に努めましょう。



The! 水キリの術

ぬらさない！

洗う前に皮をむく、水気の少ないものは直接ごみ箱に捨てる等、濡らさないことが大切です。

しぼる！

三角コーナーや水キリネットを活用して、捨てる前にひと絞りをしてください。

かわかす！

新聞紙に乗せる、室外の風通しの良い所に置く等の工夫で水分とかさを大幅に減らせます。



発行：京都市環境政策局事業系廃棄物対策室
京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル7階
TEL: 075-366-1394 FAX: 075-221-6550

右記ホームページに一般廃棄物収集運搬業許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

[京都市 一般廃棄物許可業者](#)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>